

専門ゼミ A		演習	教授 小笠原 正志
科目カテゴリー	スポーツマネジメントコースの必修科目、スポーツトレーナーコースの必修科目	科目ナンバリング	11130301

1. テーマ

スポーツビジネスの領域やスポーツ組織におけるマーケティングおよびマネジメント

2. ゼミのねらい・概要

本ゼミでは、スポーツマネジメント科学の基本理論をより広く学習するとともに、主要な文献レビューを通して、スポーツビジネスや社会におけるスポーツの様々な動向に関する研究課題と研究方法の理解を深めることをねらいとする。まず、スポーツマネジメントに関連する文献について討議を中心に学習し、その基本的な研究方法や論文の構成について学んでいく。その中で、各自が興味・関心をもつスポーツについて、スポーツマネジメントの視点から課題を提案し、発表・討論により議論を深める。

さらに、調査研究の手法を学習し、統計ソフトやプレゼンテーションソフトを活用して、データの分析および解釈、視覚に訴える図表の描き方について実践する。これらの学習を通して、より効果的な資料作成技法やプレゼンテーション能力の習得を目指すとともに、スポーツマネジメントに関する知識や理解を深める。また、マーケティング調査やプロモーション活動などの連携事業を通して、スポーツの実践の場におけるマネジメントを体験する。

3. ゼミ計画

<p>〈前期〉</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 本ゼミの概要、ゼミの進め方などのガイダンス 2. スポーツの場における実態を知る①(するスポーツ) 3. スポーツの場における実態を知る②(学校運動部) 4. スポーツの場における実態を知る③(生涯スポーツ) 5. スポーツの場における実態を知る④(みるスポーツ) 6. スポーツの場における実態を知る⑤(地域スポーツ) 7. 調査研究の方法①(課題の設定) 8. 調査研究の方法②(調査票の検討および構成) 	<ol style="list-style-type: none"> 9. 調査研究の方法③(調査の実施方法) 10. 調査研究の方法④(データ入力の手順) 11. 調査研究の方法⑤(Excel を活用したデータ入力) 12. 調査研究の方法⑥(Excel 統計によるデータ分析) 13. 調査研究の方法⑦(分析結果の考察) 14. 調査研究の方法⑧(調査研究のまとめ方) 15. 前期のまとめ
--	--

4. 準備学修（予習・復習等）の具体的な内容及びそれに必要な時間

ゼミで取り組んだ課題について、内容を復習しておく。これらの準備学修には、1時間程度が必要である。

5. 課題（試験やレポート等）に対するフィードバックの方法

調査研究の方法、テーマ設定について、個別に講評（不足している点や今後取り組むべき点など）をコメントする。

6. ゼミにおける学修の到達目標

本講義では、スポーツマネジメント研究の課題となる視点や研究方法を理解するとともに、Word, Excel, Power Point の基礎的なスキルを身につけることを目標とする。

7. 成績評価の方法・基準

ゼミでの学習意欲（20%）、課題への取り組みおよび内容（70%）が基本となるが、調査の実施やスポーツボランティア等の実践的な活動への積極的な意欲（10%）などを加味した上で総合的に評価する。

8. テキスト・参考文献

参考文献：畑 攻，小野里 真弓 編著「基本・スポーツマネジメント」 大修館書店 2017.

葦原一正著「稼ぐがすべて Bリーグこそ最強のビジネスモデルである」 あさ出版 2018.

原田宗彦 編著「スポーツマーケティング」 大修館書店 2008. その他, 適宜紹介する。

9. 受講上の留意事項

ゼミの時間以外（主に週末）に地域スポーツやスポーツイベント等の現場にて調査の実施やボランティア活動を実践する機会がある。そのような課外活動に積極的に取り組む意欲のある学生が望ましい。

10. 「実務経験のある教員等による授業科目」の該当の有無

該当する。本授業は、企業における実務経験を活かして指導する。

11. 卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目との関連

上記の「科目カテゴリー」欄の記載のとおり。